

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子ども発達・相談センターアエルたま

公表日 令和8年 3月 24日

利用児童数 25

回収数 15

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	0	0	子ども5人が活動する教室でびったりだと感じた。住居用建物を利用した施設の為、身体を動かす活動には多少狭さを感じた。	戸建てを利用しているため限界はありますが、魅力ある運動を取り入れ子どもたちが楽しめる空間を目指します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	0	たくさんいて目が多いので良かったと思います。一人一人の子供に目が行き届き、すぐ対応してもらえる配置数だったと思います。	職員の数に加え支援技術の向上に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	0	0	所々にイラストで視覚的にわかりやすく工夫されていると思いました。部屋ごとに活動が分かれていたので分かりやすかったです。	引き続き、発達支援に必要な環境設定を検証していきます。また、事故防止に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	0		子どもたちが快適に過ごせるよう毎日の掃除と業者による定期清掃を継続します。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	3	0	0	専門性はあると思いますがもっと色々な視点から取り込む事も可能そうかなとおもいます。子供の特性が本当に分かるほどには回数が足りないとも感じます。我が子は受けられたと思いました。ただ違う性質の子もいたので、同じカリキュラムなのはどうか？と感じる時がありました。子供の「やりたくない・したくない」の気持ちも意思表示として受け止めてもらい、子供に寄り添ったクラスだったと思います。	専門性を高めることに努めながら子育ての感覚や乳幼児保育、幼児教育の視点も忘れずに取り組んでいきます。また、カリキュラムの開発にも努めてまいります。回数については、大きな課題となっています。引き続き検討していきます。これからも子どもと家族に寄り添った発達支援に努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1	0	0		今後もわかりやすい表現での公表を目指していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		引き続きお子さんと保護者とコミュニケーションを取りながら充実を目指します。
	8	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1	0	2	移行支援、家族支援はもう少しあってもいいと思います。記憶が薄れてしまうので、計画書を何回も見せて欲しい。	家族支援について保護者プログラムの充実や相談がしやすい環境を整えます。所属している園や就学先への支援も充実します。計画書についてはきちんと還元できる方法を検討し実践いたします。
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1	0	1	計画書を最初しか見ないので、細かく覚えていない。期間は最短で設定されていると感じました。	計画書の提供方法および実践回数について、よりわかりやすい提示を検討します。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	0	色々考えていただいていると思いました。わからない	質の高い発達支援の組み立てを心掛け、十分な説明を行なっています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	5	3		アエルのお子さんと交流するプログラムはありません。アエル職員が園に訪問し連携をとる機会を今後も増やしていきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		引き続き丁寧な説明を行ないます。
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	1	0		発達に関してご家族としっかり共有できるように努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	1	1		ご家族に対する保護者プログラムを見直し、充実するよう努めていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	2	0	1		お子さんの発達の状況を保護者と共有できるようにさらにコミュニケーションを深めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3	0	1		定期的な面談等の設定は短期支援のためむずかしい面はありますが、ご相談に寄り添えるよう時間を作っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	0	0		引き続き、本人とご家族に寄り添った支援が提供できるよう努めます。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	4	6		父母会の設定はありません。ご家族、きょうだいについての相談には対応させていただきますと思います。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	1		ご相談には対応するようにしています。適宜、時差を少なくし対応するよう努めます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	14	1	0	0		支援実施日のコミュニケーションの充実 を意識してすすめます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	2	1	2	10		短期支援のため、通信は開始時のみと なっています。日々の活動についてはご 家族ごとにお伝えしています。支援実施 日の支援のねらい等の伝達をさらに充実 していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	1	0		法制度に則り展開しています。不安がな いよう説明の充実を目指します。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	2	説明はあったが、訓練は無し	毎年、訓練方法を変更して実施してい ますが大きな課題となっています。災害時 の対応は、重要ですので職員の訓練は重 ねています。これからもみなさまの協力 を得ながら進めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	9	0	1	5		短期支援のため契約時、初回利用時等に ヘルメットの着用を行ない避難経路の確 認を行っています。わかりにくいとい うご意見もあり、重要課題でもあります のでさらに丁寧な実施を検討してい きます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	14	0	0	1		安全計画のもとに支援を実施しており ます。見落としがちな点についてヒヤリ ハット等を活用し安全が高まる努力をし ていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	7		マニュアルがきちんと活用できるように 取り組んでいます。また、事故が起き ないように支援を行なっていきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		アエルに通うことで不安感が大きくな ることは避けなければいけない事です。職員 同士で検証し安心安全のアエルを目指 します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0	くるくるぼんのお家と呼んで、週1行く とわかっているみたいです。 センターのお休みがあった週には、くる くるぼんのお家いかないの？行きたい！ と言っていました。自分のことを理解し てくれる先生に会えるのを毎回楽しみに 通っています	楽しく通っていただけて良かったと思 います。これからもひとり一人のお子 さんに合わせた発達支援の技術向上を進 めていきます。研修を充実しスキルア ップを目指します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0		お子さん本人と保護者の方に満足して いただける専門性を活かした発達支援が 提供できるよう努力してまいります。 相談や支援、アエル終了後の方向性な ど不安が残らないようなコミュニケー ションを充実させてまいります。 ありがとうございました。